

登録コード	SGH01900	開講年度	2026				
授業題目	博物館概論				担当教員	窪田 雅之	
英文授業名	Museum Studies				副担当		
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	火曜・5時限		対象学年
講義室	人文第4講義室		授業形態	講義	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	26Sカリ, 25Sカリ, 24Sカリ, 23Sカリ						
	【2023年度以降加付対象】理学の各分野における専門知識				・世界及び日本の博物館史にふれ、時代とともに、また政治とのかかわりのなかで博物館のミッションが変化したことを理解し、博物館の在るべき姿と博物館の中核である学芸員に求められる資質について考えることができるようになる。 それを学び、検討することが将来の博物館と社会との関係を深め、学芸員が利用者とともに博物館活動を実践するという理想に近づくことを理解し、表現（発言）できるようになる。		
	【2023年度以降加付対象】専門知識や観察・実験などによって問題を理解・解決し、その成果を的確に他者に伝える力				・世界及び日本の博物館史にふれ、時代とともに、また政治とのかかわりのなかで博物館のミッションが変化したことを理解し、博物館の在るべき姿と博物館の中核である学芸員に求められる資質について考えることができるようになる。 それを学び、検討することが将来の博物館と社会との関係を深め、学芸員が利用者とともに博物館活動を実践するという理想に近づくことを理解し、表現（発言）できるようになる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、芸術文化						
(3)全学横断特別教育プログラム	ローカル・イノベーター養成コース、ストラテジー・デザイン人材養成コース、ライフクリエイター養成コース						
(4)授業の概要	本授業は地方自治体で文化財保護業務に従事し、博物館で学芸員、館長職を経験し、現在も文書館業務に従事している実務経験を活かし、現場経験と人的ネットワークにより現職学芸員ほかゲスト講師の授業も行い、かつ現場見学を実施し、学芸員に必要な資質と専門性、博物館の役割と今後の展望などについて学び、求められる学芸員像と時代にシフトした博物館の社会的意義を創造（表現）できるよう展開する。課題レポート2回の提出を求める。期末試験を実施する。						
(5)授業のキーワード							
(6)授業計画	1 博物館学の概要に関する講義 ・講師の勤務先である文書館の事業を紹介し、博物館、文書館での実務経験を踏まえガイダンスを行う。博物館学の概要を学び、今後の授業に活かす。 - キーワード／博物館学、学芸員、文書館、生涯学習、地域振興 ＊課題レポート1「博物館概論を受講する理由」 提出：4講時 2 博物館の法制度、博物館、学芸員に関する講義 ・2022年に改正された博物館法をはじめ社会教育法、文化芸術基本法などの制定背景を概観し、博物館の種類と現状、博物館の使命、学芸員の資質と職務について学ぶ。 - キーワード／博物館法、社会教育法、文化芸術基本法、文化観光、地域振興、使命、専門的職員 3 「博物館、学芸員のイメージ」についてのグループ討論 ・1、2講を踏まえ、グループに分かれて博物館、学芸員のイメージについて討論してフリップに記入する。 4 「博物館、学芸員のイメージ」についてのグループ発表と質疑応答 ・3講でまとめたイメージについてグループ別に発表し、質疑応答を行い他のグループ（受講者）のイメージを共有し次回以降の授業に活かす。 5 博物館史 世界の博物館史、日本の博物館史1に関する講義 ・ヨーロッパを中心に海外の博物館史、日本の博物館前史を概観し、世界と日本の博物館の誕生の背景のちがいについて学ぶ。 - キーワード／珍品陳列室、驚異の部屋、植民地、大英博物館、万国博覧会、正倉院、絵馬殿 6 博物館史 日本の博物館史2に関する講義 ・明治政府の博物館設置から現代までの歩みを概観し、時代にシフトした博物館の使命の変化について学ぶ。 - キーワード／博覧会、帝室博物館、文化財、博物館法、対話と連携、指定管理者制度 7 博物館活動 資料収集に関する講義 ・収集資料の種類、収集方法などを概観し、ゲスト講師（現職学芸員を予定、以下同じ。）から資料収集の実際について学ぶ。 - キーワード／コレクション、文化財、博物館資料、公共財産、分類 8 博物館活動 資料の保存と文化財IPMに関する講義 ・資料の保存について概観し、ゲスト講師（防除業者）から文化財IPMの考え方、各館における資料保存の実態について学ぶ。 - キーワード／保管、保存、予防保存、文化財IPM、ガス燻蒸、モニタリング、予防プログラム 9 博物館活動 資料の展示に関する講義 ・資料利活用の中核をなす展示の基本、手法、技術について概観し、ゲスト講師から常設展示、特別（企画）展示の準備状況や資料の利活用の実際について学ぶ。 - キーワード／展示、展示シナリオ、常設展示、特別利用 10 博物館活動 松本市立博物館を事例とした地域博物館の活動に関する講義 ・博物館見学の事前学習も兼ね、1906年に明治三十七八年戦役記念館として開館し、会館120周						

(6)授業計画	年を迎える松本市立博物館の歩みを概観し、時代により変化した博物館の使命と地域、市民とのかかわりについて学ぶ。 キーワード / 日露戦争、国威発揚、通俗教育、社会教育、観光客、市民、学都松本 1 1 博物館の見学（松本市立博物館） ・ 1 0 講までの授業を踏まえ、2 0 2 3 年 1 0 月に開館した松本市立博物館のバックヤードの一部と展示を見学し、運営方針、使命、機能、地域社会や市民、来訪者とのかかわりについて学ぶ。2 回分の授業を行う。日曜日または祝日に行う可能性が高いが、日程は後日調整する。 キーワード / 集客・観光機能、常設展示、特別（企画）展示、松本まるごと博物館、市民協働・連携、文化観光 1 2 博物館の見学（松本市立博物館） ・ 1 1 講と同じ。 * 課題レポート 2 「松本市立博物館見学の感想・意見」 提出：1 4 講時 1 3 博物館の連携に関する講義 ・ 博物館と地域社会、市民、学校などとの連携事例を概観し、ゲスト講師（松本市立博物館市民ガイド有志）から博物館と市民の連携活動の実際について学ぶ。 キーワード / 地域社会、市民、文化観光資源、連携（市民、学校、博物館、MLA） 1 4 先輩学芸員から学ぶ - 松本市美術館の事業と今後の展望に関する講義 ・ 松本市美術館の活動事例、学芸員の実務、同館の課題と展望などについて、信州大学OBのゲスト講師から学ぶ。 キーワード / 美術館と博物館、松本市美術館の4本柱、指定管理者制度、地域振興 1 5 多様化する博物館の使命と学芸員の職務、博物館の社会的意義に関する講義 ・ 1 4 回の授業を振り返るとともに、多様化する博物館の使命と学芸員の職務、新たな時代の博物館の社会的意義について学ぶ。 ・ 授業アンケート 1 6 期末テスト * 見学先、ゲスト講師の日程調整により、授業計画が前後することがある。
(7)成績評価の方法	課題レポート（2回）4割、授業内容に基づいた出題による期末試験6割の比率で総合的に評価する。
(8)成績評価の基準	・ 筆記試験 授業で示した例題と同レベルの問題が解ければ「合格水準にある」、応用問題が解ければ「やや上にある」、やや難しい応用問題が解ければ「かなり上にある」、例題から難しい応用問題が解ければ「卓越している」。 ・ 課題レポート 生成AI使用不可
(9)事前事後学習の内容	1 シラバスを読み、学芸員・博物館について理解を深める。可能ならば、身近な（見学したい）博物館に来館する。課題レポート1「博物館概論を受講する理由」作成準備。（4時間、事後学習も含む、以下同じ） 2 博物館法、社会教育法、文化芸術基本法などの関連法令を熟読する。グループ討論の準備を行う。課題レポート1作成。（4時間） 3 自分の意見とグループ討論の結果を比較検討し、整理する。（4時間） 4 自分のグループの意見と他グループの意見を比較検討し、整理する。（2時間） 5 世界の博物館史と日本の博物館前史を学習し理解を深める。（2時間） 6 時代にシフトした日本の博物館の使命の変化を学習する。（2時間） 7 配布資料等を参考に、博物館資料、文化財について学習する。（2時間） 8 配布資料等を参考に、資料の保存、管理について学習する。（2時間） 9 配布資料等を参考に、展示ほか資料の活用について学習する。（2時間） 1 0 配布資料等を参考に、松本市立博物館の歩みを学習する。（2時間） 1 1 配布資料等を参考に、中心市街地に開館した松本市立博物館の活動について理解を深める。見学時の質問を考える。（2時間） 1 2 課題レポート2「松本市立博物館を見学して」作成。（4時間） 1 3 配布資料等を参考に、博物館の連携について学習する。（2時間） 1 4 配布資料等を参考に、松本市美術館について理解を深める。（2時間） 1 5 14回の授業を振り返り、不明点、疑問点等を整理する。また博物館の社会的意義について考える。（2時間）
(10)履修上の注意	・ 身近な（好きな）博物館を見学し、具体的な学芸員像、博物館像をイメージできるようにすること。 ・ 日頃から博物館にかかわる報道、情報に接し、授業に活用すること。
(11)質問、相談への対応	窪田メールアドレス kuboma012@gmail.com
【教科書】	ありません。
【参考書】	大堀哲ほか編著 2014 博物館学 学文社 稲村哲也編著 2019 博物館概論 放送大学教育振興会 窪田雅之 2022 改訂増補信州松本発。博物館ノート 書肆秋櫻舎